

宮崎県における肝炎ウイルス検査の現状把握と陽性者のフォローアップシステムの構築

研究分担者：永田 賢治 宮崎大学医学部附属病院 肝疾患センター

研究要旨：宮崎県内に潜在しているウイルス肝炎患者の掘り起こしのために肝炎検診の陽性者のフォローアップシステムを構築するために県内で実施されている肝炎県の実態を調査した。自治体検診については健康増進事業等による肝炎ウイルス検査、検診陽性者のフォローアップの実態について各自治体の肝炎検診担当部署を対象としたアンケート調査を行った。また職域検診においては協会けんぽ宮崎支部における肝炎検診について令和2年度より肝炎検診申込用紙を変更したことによる受検者数・受検率の変化の有無を調査した。

A. 研究目的

近年、ウイルス性肝炎の治療にはHBVに対する核酸アナログ製剤、HCVに対するDAA治療が導入され多くの患者で疾患のコントロール、治癒が達成されつつある。厚生労働省では平成26年度より肝炎ウイルス陽性者を早期に発見するとともに、相談やフォローアップにより陽性者を早期治療につなげることを目的とした「ウイルス肝炎検査等の重症予防化推進事業」を行っている。宮崎県における肝炎ウイルス検査の現状把握と陽性者の追跡調査を行い、肝炎ウイルス検査陽性者の追跡システムを構築し、適切な医療に導くことを目的として本研究を行う。

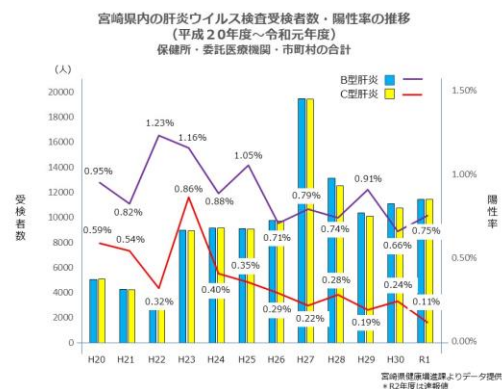
B. 研究方法

宮崎県における肝炎ウイルス検査の現状を把握のため、平成19年より実施されている肝炎ウイルス検査について県内各市町村における肝炎検診の受検者数、陽性率の推移について調査し、解析した。また昨年度調査した宮崎市における肝炎検診の陽性者フォローアップ体制の詳細について調査を行った。さらに、肝炎検診陽性者に対するフォローアップ体制について宮崎県内の自治体肝炎検診担当者に対してアンケート調査を施行した。

C. 研究結果

令和元年度に宮崎県内の自治体で実施されている肝炎検診の結果は、保健所・委託医療機関・市町村の合計で約11,400件であり、陽性者・陽性率はHBVで86件、0.75%であり、HCVで13件、0.11%であった。検診数はH29年以降わずかずつではあるが増加傾向にあり、陽性率は緩徐に減少傾向である（図1）。

図1



また各自治体の肝炎検診担当部署を対象としたアンケート調査では26自治体中、23自治体（88.5%）より回答を得た。肝炎検診を実施している自治体は23市町村中22自治体で実施されていた。検診を実施している自治体では、受検勧奨・精密検査受診確認、再勧奨について聞いたところ、受検勧奨・精密検査受診確認、再勧奨を実施して

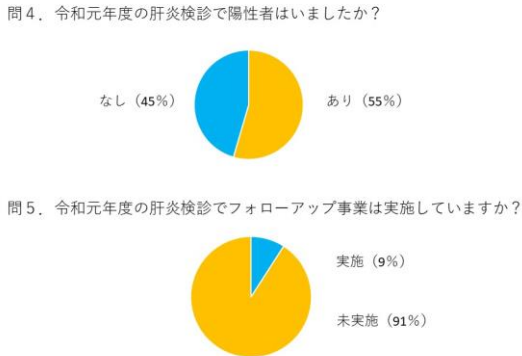
いるのは 55%、受検勧奨・精密検査受診確認を実施しているが再勧奨は実施していないが 23%、自治体は受検勧奨を実施しているが精密検査受診確認、再勧奨は実施していないが 18%であり、いずれも実施していないが 5%であった。上記の受検勧奨、受診確認、再勧奨の方法については複数回答で聞いたところ、電話が最も多く 13 自治体、対面が 11 自治体、文書が 6 自治体、その他（広報、特定検診時の勧奨）が 1 例であった（図 2）。

図 2



令和元年度の肝炎検診で陽性者がいたのは 55%であり、フォローアップ事業を実施しているのは 2 自治体（9%）のみであった（図 3）。

図 3



肝炎検診陽性者に対しての精密検査受診確認については HBV が陽性者 68 名であり、受診確認されたのが 41 名で受診確認率は 60.3%であり、HCV が陽性者 12 名であり、

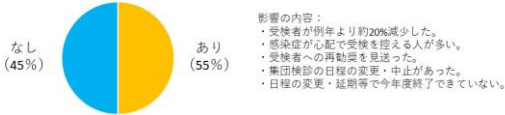
受診確認されたのが 8 名で受診確認率は 66.7%であった。令和元年度の肝炎検診でフォローアップ事業に同意された受検者はいなかった。新型コロナウイルス感染症の肝炎検診への影響について質問したところ、影響ありが 55%であり、内容については、受検者が例年より減少した。感染を心配して受検を控える住民が多かった。集団検診の日程の変更・中止があったなどであった（図 4）。

図 4

問 6. 令和元年度の肝炎検診での陽性者数、受診確認数、受診率（22自治体）

	陽性者	F/U同意	受診確認	受診済	再勧奨実施	受診確認率
HBV	68	0	41	17	5	60.3%
HCV	12	0	8	6	0	66.7%

問 7. 新型コロナウイルス感染症による肝炎検診への影響



D. 考察

ウイルス肝炎検診陽性者を適切な治療につなげるためには肝炎検診において適切な受診確認・勧奨が重要であり、検診実施自治体の実情に応じた検診および陽性者フォローアップシステムの構築および実用化が必要である。

E. 政策提言および実務活動

<政策提言>

なし

<研究活動に関連した実務活動>

なし

F. 研究発表

1. 発表論文

* 榎本 大，日高 勲，井上泰輔，永田 賢治，是永 匡紹 他. 肝疾患連携拠点病院における肝炎コーディネーターの現状. 肝臓 62(2)，96-98，2021

2. 学会発表

- * 永田賢治、蓮池悟、大園芳範、中村憲一、岩切久芳、内田祥太、品原健征、黒田和臣、今村俊久、坂下三智代、川越正敏、下田和哉：宮崎県におけるウイルス肝炎検診の現状と課題．肝臓61 Suppl(1) A256, 2020
- * 永田賢治、蓮池悟、大園芳範、土持舞衣、中村憲一、岩切久芳、稲田由紀子、矢田崇純、坂元秀壮、宇都浩文、楠元寿典、落合俊雅、加藤順也、駒田直人、黒木和男、弘野修一、重平正文、下田和哉：C型慢性肝疾患腎機能低下例におけるグレカプレビル・ピブレンタスビル併用療法の有効性および安全性についての検討．日本消化器病学会雑誌 117 臨増総会 A376, 2020

3. その他

啓発資材

- * 肝炎検診受診勧奨用ポケット
ティッシュ

啓発活動

- * 永田賢治：令和2年度 宮崎県肝炎対策懇話会 主催：宮崎県
- * 永田賢治：宮崎県肝炎医療コーディネーター養成講習会 ウイルス肝炎・肝臓の現状について（動画配信） 令和2年10月 主催：宮崎県、宮崎大学医学部附属病院肝疾患センター
- * 永田賢治：宮崎県肝炎医療コーディネーターキャリアアップ講習会 ウイルス肝炎の根絶に向けて（動画配信） 令和3年3月主催：宮崎県、宮崎大学医学部附属病院肝疾患センター
- * 永田賢治：みやざき肝炎デー2020 令和2年10月4日主催：宮崎県、宮崎大学医学部附属病院肝疾患センター
- * 永田賢治：令和2年度宮崎県肝疾患診療連絡協議会（紙面協議）主催：宮崎大学

医学部附属病院肝疾患センター

- * 永田賢治：市民公開講座「知っておきたい肝臓病の最新知識」令和2年10月17日 串間市文化会館、主催：宮崎大学医学部附属病院肝疾患センター

G. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし